07

A

| 校種・教科等 | 中学・国語 | 受審番号 | | 氏　名 | |
|---|---|---|---|---|---|

# 『中学校国語科』　模擬授業課題

（1） 日　　時　令和6年〇月〇日 第〇校時（50 分）
（2） 場　　所　2年3組教室
（3） 学年・学級 第2学年3組（33 名）　　　　　使用教科書 国語2 （光村図書） P.147～P.157

（4） 単 元 名 平家物語

（5） 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、歴史的仮名遣いや現代と意味の異なる古語などについて学習し、古典の基礎的な事項の知識を身に付けるとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読して、古典の世界に親しんできた。また、「竹取物語」の学習を通して、古人と現代の自分たちの思いには共通する部分があることも学習している。第2学年では、古典の随筆「枕草子」に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える学習をしている。

【単元のねらい】

・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむこと。
・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉えること。
・登場人物のものの見方や考え方について考えたことを交流し、自分の考えを深めること。

【生徒の状況】

古典特有のリズムを味わいながら音読する学習を第1学年から積み重ねてきており、歴史的仮名遣いについての理解はできているが、読み慣れている生徒とそうでない生徒との間に大きな差がある。また、古典を読んで登場人物や作者の思いを豊かに想像したり、作者のものの見方や考え方を捉えたりすることに、過半数の生徒が苦手意識を持っている。

（6） 指導計画（全6時間）

| 時数 | 学習内容 | 活動・指導形態 | 評価計画 |
|---|---|---|---|
| 1時間 | 〇単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。<br>〇「源氏と平家」（P.148）の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。<br>〇「平家物語」（P.150）を読み、概要と文章の特徴を知る。<br>〇冒頭部分を歴史的仮名遣いに注意して正しく音読し、独特の調子とリズムや言葉の響きを味わう。<br>〇冒頭部分の現代語訳を読んで「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。<br>〇「扇の的」（P.151～P.157）を通読する。<br>〇「扇の的」の P.151～P.152 の 14 行目までを踏まえて与一が置かれている状況を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能 |
| 1時間 | 〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間（本時） | 〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。<br>〇P.156 の 1 行目から 6 行目までを読み、次時の場面「弓流し」について状況を把握する。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇これまでの学習で捉えてきた登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをまとめ、交流する。<br>〇P.157「振り返る」を読み、これまでの学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 思考・判断・表現<br>主体的に学習に取り組む態度 |

※ 教科独自に面接審査室に準備しているもの………本時で扱う古文の冒頭の一部分(掲示用)

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

B

| 07 | 校種・教科等 | 中学・国語 | 受審番号 | | 氏　名 | |
|---|---|---|---|---|---|---|

# 『中学校国語科』　模擬授業課題

（1） 日　　時　令和6年〇月〇日　第〇校時（50 分）
（2） 場　　所　2年3組教室
（3） 学年・学級　第2学年3組（33 名）　　　　　使用教科書　国語2 （光村図書） P.147～P.157

（4） 単 元 名　平家物語

（5） 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、歴史的仮名遣いや現代と意味の異なる古語などについて学習し、古典の基礎的な事項の知識を身に付けるとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読して、古典の世界に親しんできた。また、「竹取物語」の学習を通して、古人と現代の自分たちの思いには共通する部分があることも学習している。第2学年では、古典の随筆「枕草子」に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える学習をしている。

【単元のねらい】

・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむこと。
・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉えること。
・登場人物のものの見方や考え方について考えたことを交流し、自分の考えを深めること。

【生徒の状況】

古典特有のリズムを味わいながら音読する学習を第1学年から積み重ねてきており、歴史的仮名遣いについての理解はできているが、読み慣れている生徒とそうでない生徒との間に大きな差がある。また、古典を読んで登場人物や作者の思いを豊かに想像したり、作者のものの見方や考え方を捉えたりすることに、過半数の生徒が苦手意識を持っている。

（6） 指導計画（全6時間）

| 時数 | 学習内容 | 活動・指導形態 | 評価計画 |
|---|---|---|---|
| 1時間 | 〇単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。<br>〇「源氏と平家」（P.148）の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。<br>〇「平家物語」（P.150）を読み、概要と文章の特徴を知る。<br>〇冒頭部分を歴史的仮名遣いに注意して正しく音読し、独特の調子とリズムや言葉の響きを味わう。<br>〇冒頭部分の現代語訳を読んで「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。<br>〇「扇の的」（P.151～P.157）を通読する。<br>〇「扇の的」の P.151～P.152 の 14 行目までを踏まえて与一が置かれている状況を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能 |
| 1時間 | 〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間（本時） | 〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。<br>〇P.156 の 1 行目から 6 行目までを読み、次時の場面「弓流し」について状況を把握する。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇これまでの学習で捉えてきた登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをまとめ、交流する。<br>〇P.157「振り返る」を読み、これまでの学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 思考・判断・表現<br>主体的に学習に取り組む態度 |

※　教科独自に面接審査室に準備しているもの………本時で扱う古文の冒頭の一部分(掲示用)

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

07

C

| 校種・教科等 | 中学・国語 | 受審番号 | | 氏　名 | |
|---|---|---|---|---|---|

# 『中学校国語科』　模擬授業課題

（1） 日　　時　令和6年〇月〇日　第〇校時（50 分）
（2） 場　　所　2年3組教室
（3） 学年・学級　第2学年3組（33 名）　　　　　使用教科書　国語2 （光村図書） P.147〜P.157

（4） 単 元 名　平家物語

（5） 指導する生徒の状況

【既習事項】

第1学年では、歴史的仮名遣いや現代と意味の異なる古語などについて学習し、古典の基礎的な事項の知識を身に付けるとともに、古典特有のリズムを味わいながら音読して、古典の世界に親しんできた。また、「竹取物語」の学習を通して、古人と現代の自分たちの思いには共通する部分があることも学習している。第2学年では、古典の随筆「枕草子」に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える学習をしている。

【単元のねらい】

・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむこと。
・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉えること。
・登場人物のものの見方や考え方について考えたことを交流し、自分の考えを深めること。

【生徒の状況】

古典特有のリズムを味わいながら音読する学習を第1学年から積み重ねてきており、歴史的仮名遣いについての理解はできているが、読み慣れている生徒とそうでない生徒との間に大きな差がある。また、古典を読んで登場人物や作者の思いを豊かに想像したり、作者のものの見方や考え方を捉えたりすることに、過半数の生徒が苦手意識を持っている。

（6） 指導計画（全6時間）

| 時数 | 学習内容 | 活動・指導形態 | 評価計画 |
|---|---|---|---|
| 1時間 | 〇単元のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。<br>〇「源氏と平家」（P.148）の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。<br>〇「平家物語」（P.150）を読み、概要と文章の特徴を知る。<br>〇冒頭部分を歴史的仮名遣いに注意して正しく音読し、独特の調子とリズムや言葉の響きを味わう。<br>〇冒頭部分の現代語訳を読んで「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。<br>〇「扇の的」（P.151〜P.157）を通読する。<br>〇「扇の的」の P.151〜P.152 の 14 行目までを踏まえて与一が置かれている状況を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能 |
| 1時間（本時） | 〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.152 の 15 行目「ころは二月…」から P.153 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 1 行目「与一、かぶらを…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.154 の 13 行目「あまりの…」から P.155 の 13 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。<br>〇P.156 の 1 行目から 6 行目までを読み、次時の場面「弓流し」について状況を把握する。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までを、作品の特徴を生かして読み味わう。<br>〇P.156 の 7 行目「弓の惜しさに…」から 12 行目までに描かれている状況と、登場人物のものの見方や考え方を捉える。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 知識・技能<br>思考・判断・表現 |
| 1時間 | 〇これまでの学習で捉えてきた登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをまとめ、交流する。<br>〇P.157「振り返る」を読み、これまでの学習を振り返って、学んだことを自分の言葉でまとめる。 | 一斉<br>個別<br>班又はペア | 思考・判断・表現<br>主体的に学習に取り組む態度 |

※　教科独自に面接審査室に準備しているもの………本時で扱う古文の冒頭の一部分(掲示用)

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。